

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名	情報公開・個人情報保護審査会運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	総務部	課長名	財津公正
	施策	25 行政改革の推進			所属課	総務課	担当者名	猿渡祥子
	基本事業	90 評価機能の確保			所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1217
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 1	事業連番 11185	法令根拠	合志市情報公開条例、個人情報保護条例	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		
成果優先度評価結果		⑫						
コスト削減優先度評価結果		⑥						

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	<p>(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)</p> <p>①実施機関の事務事業開始・変更に伴う市長からの諮問や、非開示決定等への不服申立て等に対して情報公開・個人情報保護審査会を開催し、諮問案件等について審査・答申を受ける事業。                  ②平成13年4月施行の旧西合志町情報公開条例及び個人情報保護条例の施行に伴い条例化され、そのまま新市に引き継がれた。                  ③住民の市政への関心向上を図るため、市ホームページ・市広報紙等で随時情報提供を行う。</p>
【業務の流れ】	<p>①諮問書の受理                  ②審査及び資料の請求並びに意見説明の聴取                  ③議事録の作成                  ④答申書の作成                  ⑤報酬・費用弁償の支払い                  ⑥行政情報の随時公表</p>
【主な予算費目】	市情報公開・個人情報保護審査会委員への報酬・旅費(費用弁償)
【意見や要望】	<p>審査会より、「公文書で市民に周知を図ったほうがよいものは、市広報紙や市ホームページで自主的・積極的に公開していくこと。」「個人情報の取扱いについては細心の注意を払うこと。セキュリティ対策(特にヒューマンエラー防止策)については万全を期すこと。」との意見があっている。</p> <p>関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?</p>

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
平成26年度は個人情報及び公文書開示不服申立に係る諮問が1件あり、審査会を開催した。	前年度と同様
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 審査会の開催回数	回 なし
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
審査会	(単位) 人
	→ ア: 委員
	イ: 諮問件数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
審査会が適正な判断・決定(答申)を行うための事務作業を適正かつスムーズに行う。	(単位) 件
	→ ア: 答申数
	イ:
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠	
諮問された案件について、審査会が慎重に審議し、答申を出すことにより、諮問委員会としての機能を果たすため成果指標の設定とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込	
① 活動指標	ア	回	1	0	3	1	3	3	3	3	
	イ										
② 対象指標	ア	人	5	5	5	5	5	5	5	5	
	イ	件	2	0	2	1	2	2	2	2	
③ 成果指標	ア	件	2	0	2	1	2	2	2	2	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	45		136	45	136	136	136	136
		(A) 事業費計	千円	45	0	136	45	136	136	136	136
		(A)のうち指定経費	千円	19	0	56	19	56	56	56	56
	(B) 人件費計	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	6	5	5	5	4	4	4	4
延べ業務時間		時間	357	97	192	75	192	192	192	192	
(B) 人件費計		千円	1,453	386	764	298	764	764	764	764	
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,498	386	900	343	900	900	900	900	

事務事業名	情報公開・個人情報保護審査会運営事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部（SEE）

\*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 審査会が適正な判断・決定を行うための事務作業を適正に行う。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 事前配布資料については、内容に過不足なく、なるべく分かりやすくかつ日程的余裕をもって各委員に届けておくよう努力する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 情報公開条例・個人情報保護条例に基づく審査会であるので、他に手段はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費としては、委員の報酬・費用弁償のみである。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 審査会に係る資料作成等であり、削減は難しい。逆に諮問や不服申し立てが増えれば人件費は増えることになる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 不服申し立てや実施機関の諮問を審議する機関であり、受益者負担は適さない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 情報公開や個人情報保護に関する諮問委員会のため適正である。

## 3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成26年度は「個人情報及び公文書開示不服申立て」に係る諮問が1件あり審査会を開催した。

## 4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善）  <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善）  <input checked="" type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p>																						